

注入補修用中粘度揺変形エポキシ樹脂

サニボンド

A-522

JIS A 6024 (建築用補修用注入エポキシ樹脂)中粘度形(Mタイプ)適合品

サニボンドA-522は建築補修注入エポキシ樹脂規格に適合する、中粘度タイプの揺変性に富むエポキシ樹脂系接着剤でコンクリート構造物のひび割れや間隙、またモルタル、タイルの仕上げ材などの浮き注入補修工事が開発されました。また、A-522は比較大きなひび割れでも流下現象を起こさずに、微細なひび割れにも注入出来ます。

- 用途**
 - 自動式低圧樹脂注入工法用エポキシ樹脂
 - 樹脂モルタル用バインダー

- 特徴**
 - 揺変性: 揺変性にすぐれ、微細な亀裂、間隙でも十分に注入充填が出来ます。自動式低圧樹脂注入工法の注入エポキシ樹脂に適合します。
 - 接着性: コンクリートに対する接着性にすぐれています
 - 高強度: 硬化後の機械強度にすぐれています。
 - 収縮性: 無溶剤タイプで100%硬化し、ほとんど収縮せず注入接着性にすぐれています。
 - 耐水性: 硬化物の耐水性、耐薬品性にすぐれています。

■性状

| 品名 | A-522 R (一般用) | | A-522 W (冬用) | |
|-----------------------|------------------|----------|-----------------|----------|
| | 主剤 | 硬化剤 | 主剤 | 硬化剤 |
| 項目 | エポキシ樹脂 | ポリアミドアミン | エポキシ樹脂 | ポリアミドアミン |
| 主成分 | エポキシ樹脂 | ポリアミドアミン | エポキシ樹脂 | ポリアミドアミン |
| 外観 | 乳白色液状 | 褐色液状 | 乳白色液状 | 褐色液状 |
| 混合比(重量比) | 2 | 1 | 2 | 1 |
| 混合粘度 23℃ | 8000 mPa・s | | 6000 mPa・s | |
| チキソトロピックインデックス 23℃ | 5 | | 5 | |
| 可使用時間(分) 23℃ | 60 | | 30 | |

■物 性

| 品 名 試験 | | | A-522 R (一 般 用) | | A-522 W (冬 用) | | |
|---------------------------------|------------|------------------|--------------------|------------|------------------|-----------|-------|
| 品質 | | 条件 | 試験結果 | JIS規格 | 試験結果 | JIS規格 | |
| 粘性 | 粘 度(mPa・s) | 20±0.5℃ | 8870 | 5000-20000 | 6390 | 5000-2000 | |
| 接 着 強 さ (N/mm ²) | | 標準条件 | 9.4 | 6.0以上 | 8.5 | 6.0以上 | |
| | | 特 殊 条 件 | 低温時 | — | — | 7.7 | 3.0以上 |
| | | | 湿潤時 | 4.7 | 3.0以上 | 3.9 | 3.0以上 |
| | | | 乾湿繰り 返し時 | 6.3 | 3.0以上 | 6.8 | 3.0以上 |
| 硬化収縮率(%) | | — | 2.2 | 3以下 | 2.2 | 3以下 | |
| 加熱 | 重量変化率(%) | — | 2.1 | 5以下 | 3.8 | 5以下 | |
| 変化 | 体積変化率(%) | — | 2.0 | 5以下 | 4.0 | 5以下 | |

JIS A 6024(建築用補修用注入エポキシ樹脂)品質規格に基づく試験
(財)日本塗料検査協会による試験結果

■使用方法

- 下地処理: コンクリート、モルタル、タイル等の施工面のレイタンス、ゴミ油分は除去して下さい。
- 配合: 主剤と硬化剤を2:1の重量割合で正確に計量して十分に攪拌混合して下さい。混合、攪拌不良ですと硬化不良の原因になります。
- 可使時間: 配合量は、可使時間内に使い切れる量で配合して下さい。雰囲気温度が高いほど、配合量が多いほど可使時間は短くなります。
- 養生: 養生温度は原則として5℃以上で使用して下さい。養生中は振動、水分等の影響を受けないようにして下さい。

■注意事項

- 作業場所は十分に換気し、保護具等を着用して下さい。
- 作業服、工具に付着した樹脂は速やかに除去して下さい。
- 体質によってはカブれることがありますので、保護具等を着用し、皮膚に付着した場合には直ちに、石鹼水で洗い流して下さい。
- 皮膚障害、呼吸障害が見られるときは、必要に応じて医師に診察を受けて下さい。
- 使用後は容器の蓋を締めて冷暗所に保管して下さい。



本カタログの記載事項は弊社の試験設備による特定条件下で得られた測定値の代表例です。
その他取扱いについては安全性データシート(SDS)をご参照下さい。

平成13年4月 現在